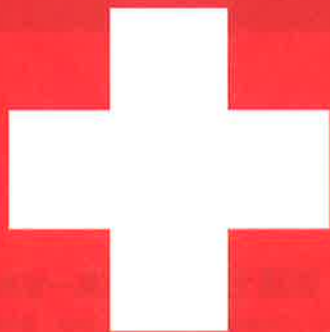




広島弁護士会



# 一歩進んだ 被災者支援

～情報、ネットワークを最大限に活かして～

広島市は平成26年8月に豪雨災害に見舞われ、その後も、熊本地震をはじめ、全国各地で大規模災害が発生しました。そして、今年の7月、西日本を中心とした広い範囲で未曾有の豪雨災害が発生し、まだ被災地では、色濃く災害の爪痕が残っています。

そのような災害による大きな被害が発生した時、被災地の現場では、災害弱者や行方不明者の情報等が錯綜し、迅速かつ適切な支援活動が十分に行われていないという実情もあります。

速やかに充実した被災者支援をするには、何が必要なのでしょうか。被災者支援に携わる関係者全員で一緒に考えましょう。

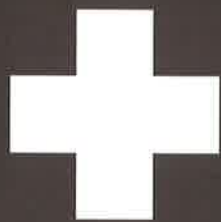
**参加無料**

主催：広島弁護士会

共催：日本弁護士連合会・中国地方弁護士会連合会・広島県災害復興支援士業連絡会

後援：広島県・広島市・広島県社会福祉協議会・法テラス広島

⚠️ 詳しくは裏面へ! ➡️



# 一歩進んだ被災者支援

～情報、ネットワークを最大限に活かして～

広島弁護士会

## 第1部 基調講演

### 1「災害時の情報の利活用(個人情報と支援情報)」 13:00～14:10

【講師】 弁護士 岡本 正 (第一東京弁護士会)

銀座パートナーズ法律事務所代表。博士(法学)。慶應義塾大学 災害復興法学 講師。代表著書に「災害復興法学」(2014年 慶應義塾大学出版会)、「災害復興法学II」(2018年 慶應義塾大学出版会)、「自治体の個人情報保護と共有の実務」(2013年 ぎょうせい・共著)等

東日本大震災、広島豪雨災害、熊本地震などにおける法律相談の内容をデータベース化し、災害時におけるリーガルニーズ等について検証を行うとともに、発災時の個人情報の取り扱いなどについて、全国の自治体・民間企業等で講演を務めておられることから、その経験をもとに、現時点における課題をご報告頂きます。



### 2「災害直後における被災者支援活動の諸問題について 災害復興は、建前を捨てて、総力戦で!

～支援者は、被災者が助けてと言える信頼関係を～」 14:10～15:00

【講師】 NPO まち・コミュニケーション代表 宮定 章

東日本大震災や熊本地震をはじめ、海外の災害について、最前線で支援活動を実施。数多くの経験を踏まえて、災害直後から復興段階に至るまでの間、支援情報のありかたや、行政機関等とのあるべき連携などについて、ご報告を頂きます。



## 第2部 パネルディスカッション

### 「法律・福祉・行政・支援団体の連携モデル ～迅速に、的確に。日本一の被災者支援を目指して～」

15:10～16:30

被災者支援のために各機関が連携するにあたっての課題や、あるべき未来像について意見交換を行い、事前の備えについて特に意識しておかなければならない事項を共有しましょう。

【パネリスト】 岡本 正 弁護士

宮定 章 さん

平岡 和子 福祉士 (広島県社会福祉士会副会長)

【コーディネーター】 今田 健太郎 弁護士 (広島弁護士会 災害対策委員会委員長)

●日時:平成30年11月21日(水)

午後1時～午後4時半まで

●場所:広島弁護士会館3階 (広島市中区上八丁堀2-73)  
公共交通機関を利用してお越しください

●申し込み:特に不要ですので当日開催場所にお越しください。

対象:広島県内において被災者支援に携わられている行政機関、福祉機関、専門職の方、各種NPO団体の方、その他一般の方も参加可能です

※「ご不明な点・ご質問がありましたら、一久保法律事務所(082-225-7560) 弁護士一久保直也までお問い合わせください

参加  
無料

